

鳴門市里浦小学校



1 学校の概要

- ① 児童数 160名
- ② 校訓 自主・勤勉・協同・感謝
めざす児童像

- ・自分で考え進んでやりぬく子
- ・元気でたくましく生きぬく子
- ・親切で心豊かで優しい子
- ・自他ともに大切にできる子
- ・感謝を忘れず礼儀正しい子
- ・防災意識に関心の強い子

③ 環境目標・テーマ

- 里浦の豊かな自然を守るために、できることから始めよう
ー保護者や地域の方と連携して、一人一人が実践できる学校づくりー
- 1. 「節電」「節水」「ゴミ分別」「リサイクル活動」に取り組み、活動を家庭や地域に広めていく。
 - 2. 学校周辺にある公園の清掃に取り組み、地域の環境美化に努める。

2 行動方針

- ① 学校における節電・節水に努める。
- ② 学校におけるゴミの分別に努める。
- ③ 学校におけるリサイクル活動を行う。
- ④ 地域のゴミにおける環境学習に取り組む。
- ⑤ 地域の清掃活動に取り組む。

3 行動

- ① 新学校版環境ISOの行動方針を各教室に掲示し、意識の高揚を図った。
- ② 環境委員会が中心となって、集会で、行動目標の呼びかけを行った。



③ 「節電」「節水」を呼びかけるポスターの掲示



- ④ ゴミの分別 (ゴミ箱に表示し分別の意識づけ)
- ⑤ クリーンセンターの見学をして (4年生)

10月16日(火)4年生がクリーンセンターの見学に行き、職員の方からゴミの処理について話を聞いた。見学から学んだことを4つのグループ(・クリーンセンター調べ隊・分別し隊・リサイクルし隊・ポスターづくり隊)に分かれて、11月の集会の場で発表した。また、ゴミ箱の表示も色別で新しく作り直してくれた。児童が、ゴミの処理について学んだことや考えたことを新聞に

まとめて家庭に発信した。



⑥ リサイクル活動

ペットボトルのふたとプルタブの回収，及び制服のリサイクル



⑦ 地域にある公園や花だんの清掃活動（6月と10月）



4 具体的効果

- ◆ 節電・節水を呼びかけるポスターや環境コーナーの掲示物などにより児童・職員，一人ひとりの環境問題についての意識づけができてきている。
舎外の水道の栓が，以前はきちんと閉められていないことがあった。しかし，取り組みを始めてからきちんと閉められるようになった。
トイレの電気がつけっぱなしになっていることがほとんどなくなった。
環境のことについて学級で話題になることが増え，誰もいない場所の電気を消したり，水が落ちている水道の栓を閉めたりできる児童が増えている。
- ◆ ゴミの分別は意識してできるようになってきている。
- ◆ 児童会の呼びかけで，ペットボトルのふたやプルタブの回収をしている。児童を通して，家庭や地域の方々も収集に協力してくれている。
- ◆ 参観日に，使わなくなった制服のリサイクルを呼びかけている。転入生の保護者の方にも喜んでもらっている。
- ◆ 職員も片面印刷やミスプリントの用紙をメモ用紙や職員への配布文書に使用するようになった。
- ◆ 6月と10月に地域にある公園や花だんの清掃をすることにより，児童の中に，自然環境を大切にしようとする意識とともに，地域を愛する心も育ってきている。

5 改善点

- ◆ ゴミの分別は意識してできるようになってきたので，ゴミの減量化に努めていきたい。
- ◆ 保護者や地域の方にも，学校での取り組みを今まで以上に広めて，地域の環境に対する意識を高めていきたい。
- ◆ 節水のために，定期的に漏水の検査なども行うようお願いしていきたい。